



歯科受診にも お薬手帳を忘れずに！



病院や薬局に行くときは「お薬手帳」を持っていくけれど、「歯科医院ではいらないだろう」と思っていますか？

じつは歯科も、お薬手帳をお持ちいただけるととても助かるのです。

歯科の治療は患者さんが想像している以上に、患者さんの持病や、持病の治療薬に影響を受けます。そのため歯科は、十分な配慮をして治療後の経過をよくしたり、治療を安全に行うために、患者さんの持病や服用しているお薬について、できるだけ正確な情報が欲しいと切実に思っています！

糖尿病のかたは？

歯周病になりやすい

歯周病の炎症が起きやすく、治りにくい傾向にあります。

傷が治りにくく感染しやすい

手術後や抜歯後の傷が治りにくく感染しやすい。
抗生物質などは歯科の指示通りに飲みましょう。

血液サラサラの薬を飲んでいると

心血管病の治療のために抗凝固薬、抗血小板薬を飲んでいると、外科処置後になかなか血が止まりません

低血糖発作を起こすことがある

食事療法、飲み薬、インスリンなどで血糖値のコントロールをして体調を整えて治療にのぞみましょう

普段飲んでいるお薬は、必ずいつも通り飲んで受診を！
お食事もいつもどおり摂ってください。
歯周病になると炎症が進みやすいので歯科で定期的なメンテナンスを受けましょう！

高血圧のかたは？

出血しやすい傾向が

血圧のコントロールがされていないと、歯石をとったり、歯ぐきの切開や抜歯などの外科処置をしたときに出血しやすい。

血液サラサラの薬を飲んでいると

心血管病の治療のために抗凝固薬、抗血小板薬を飲んでいると、外科処置後になかなか血が止まりません。

血圧が上昇しやすい

歯科治療は緊張しやすいので、治療中に血圧が急上昇しないよう、飲み薬で血圧を十分にコントロールして受診しましょう！

普段飲んでいるお薬は、必ずいつも通り飲んで受診を！
歯科に来るとドキドキして血圧が上がってしまうかたが多いので、治療前にも血圧を確認します！

